

がんセンターだより

～がんセンターに新しい部門ができました～

部門新設の お知らせ

がんゲノム診療部門

がんゲノム医療とは、がん患者さんの遺伝子情報を100種類以上の遺伝子を一度に調べることができる装置を用いてがんゲノム解析を行い、がん細胞の遺伝子異常を調べて分析することで、個々にそれぞれ適した治療薬情報を提供する次世代のがん医療です。当院は、厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に指定され、今後はがんゲノム医療中核病院と連携して、がんゲノム医療を積極的に行っていきます。

がんのよりよい治療の提供のために
わたしたちができること



がんゲノム診療部門長
二村 学

小児・AYA 世代部門



第3期がん対策推進基本計画の中では、小児・AYA世代が1つのキーワードとなっています。そのため、当院では「岐阜県小児・AYA世代のがん等成育医療相談支援センター」を設置し、県内の小児期やAYA世代の患者の抱える医療に関する不安や療養に伴う心理的社会的な問題等の相談を受けられる体制を整えました。

また、がんやてんかん等の医療や相談支援に携わる医療従事者を対象とした研修会や県民の方々を対象とした県民公開講座を実施しています。

小児・AYA 世代部門長 小関 道夫



- がんセンター部門新設のお知らせ
- 小児科臨床試験・治験

- イベントのご案内
- 長期治療を必要とする患者さんへの就労支援 他

臨床試験と治験に関する御案内

当院では、より多くの患者さんが最先端の治療を受けられるよう治療の標準化を目指して、積極的に臨床試験に参加しています。シリーズ第12回目は小児科の進行中臨床試験をご紹介します。

平成30年1月現在

- 乳児期発症の急性リンパ性白血病に対するリスク層別化治療の有効性に関する多施設共同第Ⅱ相臨床試験
- 小児慢性期慢性骨髄性白血病(CML)に対する多施設共同観察研究(CML-08)
- ALCL99(未分化大細胞リンパ腫 Anaplastic Large Cell Lymphoma(ALCL)の治療計画)
- 小児急性骨髄性白血病を対象とした初回寛解導入療法におけるシタラビン投与方法についてランダム化比較検討および寛解導入後早期の微小残存病変の意義を検討する多施設共同シームレス第Ⅱ-Ⅲ相臨床試験
- 髄芽腫(並びにその類似疾患)に対する治療研究(東海小児脳腫瘍研究会)
- 小児B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相および第Ⅲ相臨床試験 ALL-B12
- 日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)における小児血液腫瘍性疾患を対象とした前方視的研究(JPLSG-CHM-14)
- 多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)に対する遺伝子変異検索に関する臨床研究
- 多発性内分泌腫瘍症2型(MEN2)に対する遺伝子変異検索に関する臨床研究
- 小児固形腫瘍観察研究
- 分子遺伝学的完全寛解を達成した小児慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬中止試験
- 高リスク神経芽腫に対するICE療法を含む寛解導入療法とBU+LPAMによる大量化学療法を用いた遅延局所療法第Ⅱ相臨床試験 -JNBSG JN-H-15-
- 小児ホジキンリンパ腫に対するFDG-PE検査による初期治療反応性判定を用いた治療法の効果を確認する第Ⅱ相試験
- 標準的化学療法を行った進行期小児リンパ芽球性リンパ腫の予後因子探索を主目的とした多施設共同臨床試験
- 小児高リスク成熟B細胞性腫瘍に対するリツキシマブ追加LMB化学療法の安全性と有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験
- 再発および寛解導入不能小児ALLに対する前方視的観察研究および再発および寛解導入不能小児ALL試料を用いた基礎研究(ALL-R14)
- 稀少小児遺伝性血液疾患における原因遺伝子の探索研究
- 小児がん治療後の合併症に関する後方視的研究

新しい「くすり」を創るためには「治験」を行う必要があります。治験は、患者さんの協力なくしては行うことができません。当院で実施中の治験をご紹介します。

食道癌 3件
胃癌 2件
子宮頸癌 1件
T細胞性リンパ腫 1件
大腸癌 1件
肺癌 1件
乳癌
平成30年1月現在

先端医療 臨床研究推進センター

電話：058-230-7038

電子メール：chikenj@gifu-u.ac.jp

URL：https://hosp.gifu-u.ac.jp/icc/



イベントのご案内

第2回 がんセンター がん相談支援センター公開講座

平成30年9月19日(水)

管理栄養士 西村佳代子
伊井 仁美

食欲低下時にオススメのジュース
簡単レシピの紹介 他



緩和ケアセンター講演会

頭皮ケア
ウィッグ
ネイルケアが
体験できます



頭皮を元気にする シャンプーレッスン

10月10日(水) 10:00~11:45

多目的ホール

株式会社スヴェンソン 幹 貴衣

なんでも相談のご案内

がん相談支援センターってどんなところ?どんな相談ができるの?
なんでも相談を体験して、大切な人に広めてみませんか。

平成30年10月10日(水)、11日(木) 10:00~12:00

岐阜大学医学部附属病院 1階イベントホール

① 体験コーナー

- 健康チェック
- 栄養補助食品の試飲
- クイズラリー

② がん相談コーナー

がん全般についてのご相談をお伺いします。

③ 展示

- Q & A

お問合せ がん相談支援センター 058-230-7342

がん患者支援イベント

リレーフォーライフは、仲間と共に作りあげて行くチャリティイベントです。がんと向き合う多くの方が集い語らうこの場所で、同じ時を過ごしませんか。



RELAY FOR LIFE

◆全国テーマ
SHAKE HANDS 希望の光
◆岐阜テーマ
～つなげよう次世代へ～垣根を越え集い語らう



日時 2018年 (雨天決行・荒天中止)
10月13日 ±13:00
14日 日 11:00

お問合せ先
リレーフォーライフ岐阜実行委員会
E-mail : gifu@rfl-chubu.net
URL : <http://rfl-chubu.net/gifu/>
※詳細についてはホームページをご確認ください。

会場 〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 ※バスをご利用の際は、岐阜大学敷地内の「柳戸橋」バス停のご利用が便利です。
岐阜大学医学部附属病院内 ホスピタルパーク

主催：リレー・フォー・ライフ岐阜実行委員会/公益財団法人日本対がん協会
共催：国立大学法人岐阜大学/国立大学法人岐阜大学医学部附属病院
後援：厚生労働省/公益財団法人岐阜県教育文化財団 特別後援：アメリカ対がん協会
特別協賛：株式会社 ECC/サノフィ株式会社/住友生命保険相互会社/ノニー生命保険株式会社/中外製薬株式会社/
株式会社三菱UFJ銀行 /武田薬品工業株式会社/デルタ航空会社/小野薬品工業株式会社

Celebrate
がんの告知を乗り越え、今を
生きているサバイバーや家族、
支援者を讃え、祝福します。

Remember
がんで亡くなった愛する人を
偲び、追悼します。

Fight Back
がん研究を行い、がんに負け
ない社会を作るために、行動
します。

「もっと知ってほしい大腸がんのこと 2018in 岐阜」のご案内

このたび、岐阜大学病院では、大腸がん患者・経験者・そのご家族や医療者のみなさに向けて、近年進歩の著しい治療をテーマに、患者自らが自分の症状や希望に合った治療の選択肢を知り、決定することができる医療環境を目指して、県民公開講座「もっと知ってほしい大腸がんのこと 2018in 岐阜」を10月14日(日)13:00 から岐阜県図書館で開催します。当日は、医師による講演や看護師による情報提供、O&A などのセミナーと検査、治療に使用する機器のブース展示があります。ぜひ、この機会にお気軽にお越しください。

ポイント1 ブルーリボンキャラバン初の岐阜開催

ポイント2 参加料無料 予約不要

ポイント3 会場無料送迎バスがあります！

ポイント4 大腸癌研究会会長杉原先生、岐北厚生病院西村先生、岐阜大学病院病院長ほか医師による講演、岐阜大学病院看護師による情報提供など多彩で豊富な内容が盛りだくさん！！
司会はフリーアナウンサーの中井美穂さんです。

第6回

岐阜県がん情報センター 県民公開講座

入場無料
(事前申込み制)

「5度の手術と乳房再建 1800日」

日時:平成30年11月23日(金・祝)
13:30~15:20

場所:岐阜大学 サテライトキャンパス
多目的講義室(岐阜スカイウイング37東棟4F)
定員:150名(先着順)



女優の生稲晃子さんによる
講演会を開催します。

申込み方法 E-mail または FAX にて郵便番号、住所、氏名、電話・FAX 番号、参加人数を明記の上、**11/12(月)**までにお申込みください。どちらもお持ちでない場合は電話(058-230-7342)

でのお申込みも可。

[E-mail/info@gifucic.jp](mailto:info@gifucic.jp) FAX/058-230-7037

お問い合わせ:岐阜がん情報センター
岐阜大学医学部附属病院がんセンター内
TEL:058-230-7342



医療従事者の方へお知らせ



第5回

岐阜県がん在宅緩和ケア 推進のための研修会

在宅につなぐがんリハビリテーション
～作業療法士がみる世界～

2018.12.6(木)19:00～
岐阜大学医学部記念会館(岐阜市柳戸1番1)

講師
大阪国際がんセンター
島崎 寛将 作業療法士

対象者 県内の医療従事者
申込締切 11月26日(月)

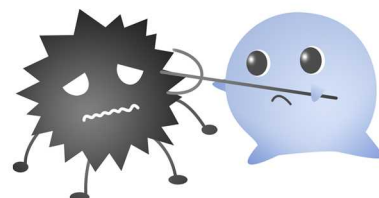
岐阜大学医学部附属病院医療支援課医療支援係
TEL:058-230-6162 FAX:058-230-7037

Immune-related Adverse Event Management Working Group

免疫関連有害事象マネジメント

ワーキンググループ立ち上げのご案内

免疫チェックポイント阻害剤は従来の抗がん剤とは異なる作用機序を有し、がん細胞の免疫逃避を解除する新しいタイプの抗悪性腫瘍剤です。したがって、同薬剤に特徴的な副作用が発現することがわかっています。今後、様々ながん腫でさらなる適応追加が見込まれ、使用患者の増加が予想されることから、副作用対策が急務となっています。そこで、当センターではがん診療に携わる診療科と副作用マネジメントに関連する診療科のネットワークを構築し、迅速かつ円滑な対応をとり副作用の重篤化を回避する目的で、「免疫関連有害事象マネジメントワーキンググループ」を立ち上げました。今後は院内の体制を整え岐阜県全体に発信できるように取り組んでいきます



Immune-related Adverse Event Management Working Group

がん・肝炎・糖尿病など長期にわたる治療を必要とする患者さんへの就労支援

岐阜大学医学部附属病院では、長期にわたる治療を必要とする患者さんへの就職支援として相談・復職・再就職の3つの取り組みを行い、患者さんやそのご家族を支えます。こんなときは、ご相談ください。



患者さんが困っています。

タイプ1 相談

Q: がんになった。これからの生活や仕事はどうしたらいいの？



北診療棟2階でお待ちしています

悩み別の就労支援があるんだね！



がん就労相談

社会保険労務士による
問題解決のサポート

ポイント

法律や社会保障制度を知りたい方

タイプ2 相談

Q: がんや肝炎など長期治療が必要になった。今の職場で仕事を続けるにはどうしたらいいの？



北診療棟2階でお待ちしています

治療と仕事の両立支援

両立支援促進員による
復職に向けた調整

ポイント

現在休職中など
復職を希望の方

タイプ3 相談

Q: がんや肝炎など長期治療が必要になった。今、離職している。これから仕事を探すにはどうしたらいいの？



イベントホールでお待ちしています

就職支援

就職支援ナビゲーター
による就職支援

ポイント

離職をされて
就職を希望の方

タイプ4 交流

Q: がんになった。同じ体験をした人と交流するにはどうしたらいいの？



北診療棟2階で開催しています

がん患者サロン

体験者同士の情報
交換・共有の場

ポイント

自分の気持ちを
話したい方

開催日はがんセンターホームページのお知らせ欄に随時掲載しています。

<https://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/>

お問合せ先 岐阜大学医学部附属病院 がん相談支援センター

お問い合わせ

岐阜県岐阜市柳戸1-1

岐阜大学医学部附属病院 医療支援課

(がんセンター事務)

TEL 058-230-7342 FAX 058-230-7037

がんセンターだよりへのご意見
ご感想をお待ちしております



URL <https://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/index.html>

岐阜大学医学部附属病院は都道府県がん診療連携拠点病院です。